

甲南大学大学院法学研究科法務専攻（法科大学院）の
2020年度（2019年度秋入学を含む）以降の学生募集停止について

甲南学園理事長、理事会による方針として、甲南大学法科大学院の2020年度（2019年度秋入学を含む）以降の学生募集を停止することを2019年2月22日の理事会において決定しました。この決定を受け、その内容を以下に公表いたします。

甲南大学法科大学院は、2004年4月に設置、大学院生一人ひとりに対する非常にきめ細やかな指導や、ビジネスに強いローヤーの育成、ローヤーの職域拡大、昼夜開講・秋入学、有職社会人への学びの場の提供等による「甲南ロースクールモデル」とも言える形を完成し、今までに累計132名（平均10.1名／年）の司法試験合格者を輩出してきました。

近年の入学試験においても2倍以上の競争率を確保した上で定員も充足させるなど、一定の存在感を示し、修了生は、本学法科大学院で身に付けた能力を生かし、弁護士として、あるいは企業法務等において活躍しています。

しかし、法科大学院の理念および制度の変化が激しく、全国的な法科大学院修了生の司法試験における合格者が減少する状況において、法科大学院として法曹養成という社会的使命を発展的あるいは安定的に果たし続けていく見通しを持つことは難しいと判断しました。今後、本学法科大学院で蓄積した経験と実績を生かし、法曹や法務に関わるプロフェッション等を志望する人々（有職社会人も含む）への充実した教育を行っていく予定です。

この段階で、2020年度（2019年度秋入学を含む）以降の学生募集を停止することによって、次に続く院生が入学する道を閉ざすことは苦渋の決断であり、入学機会がなくなってしまうことを深くお詫びいたします。

もちろん、本学法科大学院に在籍する学生がすべて修了するまで、現在の教育・指導体制を維持し、教育責任を果たしてまいります。併せて、修了後の研修生の支援も続けてまいります。

これまで、本学法科大学院の設置・運営にご支援・ご協力を賜りました関係者の皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、今回の決定に対しまして、ご理解を賜り、今後の展開を見守っていただきますようお願い申し上げます。

2019年2月26日

甲南学園理事長 吉沢英成
甲南大学学長 長坂悦敬